

ICTを効果的に活用した授業改善の推進

行田市教育委員会

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した取組事例

1. ICT活用推進研修会の実施

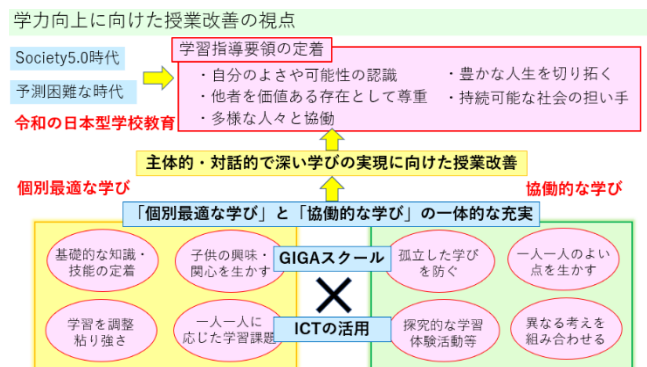
ICTを効果的に活用し、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した授業改善を図ることが、児童生徒の学力向上につながると考え、ICT活用推進研修会を実施した。各小・中学校の情報教育担当者や校内研修担当者を参加対象とし、授業支援ソフトの導入先であるベネッセコーポレーションの担当者と市教委の担当指導主事が、演習を交えた講義を行った。基本的な操作だけでなく、模擬授業形式での活用事例の紹介等も行い、日頃の授業改善につながる内容となった。後日、市内の全小・中学校においてICT支援員や研修会参加者が中心となって、校内研修を実施し、全教職員が研修内容を共有できるようにした。

本研修会の実施後に行った調査により、授業におけるICTの活用率が向上し、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を目指した授業改善が進められているという成果が見られた。

2. ICT活用事例集の作成

ICT活用推進研修会での内容を受け、各校の効果的な取組を共有することを目的とした「ICT活用事例集」の作成に取り組んでいる。各校の学力向上推進担当者を委員とする行田市学力向上推進委員会を組織し、ICTを活用した授業事例を持ち寄り、効果的な活用の方法について協議を行った。協議では、ベネッセコーポレーションの担当者にも参加していただき、各校の取組に対する助言や先進事例等の紹介をしていただいた。授業事例は、市のMicrosoft Teams上で共有できるようにしており、他校の効果的な事例を自校の授業改善に生かせるようにした。

次年度以降も新たな事例を共有していく予定であり、ICTの効果的な活用について継続的に研究を進めていく。



3. 小・中合同授業研究会の実施

小・中学校9年間を見通した教育の充実や教員の授業力向上を目指し、小・中合同授業研究会を実施した。各小・中学校から1名以上の教員が参加し、今年度は小学校の算数科、中学校の英語科において授業研究会を行った。その際、市教委の担当者が事前の指導案検討から参加し、①ICTを活用した場面を設定すること ②「個別最適な学び」と「協働的な学び」に取り組む場面を設定することを視点として、授業づくりに向けた指導・助言を行った。これらの視点は、研究協議の柱としても扱い、参加した教員が、ICTの活用や「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた授業改善についての理解が深められるようにした。



4. 各学校における実践例

実践例1

- 教科名 算数科（小学校第3学年）
- 単元名 「かけ算の筆算を考えよう」

- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた工夫

本時の問題と課題の確認、見通しの時間を短くし、自力解決の時間を多く設定できるようにした。自力解決では、既習内容を確認しながら個人で問題を解いたり、必要に応じてペアで相談をしたりと、各自の実態に合った方法で学習に取り組めるようにし、自身のペースで学習が進められるようにした。自力解決が難しい児童は教師のもとに集め、課題解決に向けた助言を行い、スモールステップで学習に取り組めるように工夫をした。練り上げの場面では、ICTを活用し、複数の解法をモニターに提示しながら、児童一人一人の理解が深められるようにした。適用問題では、AIドリルを活用することで、児童が意欲的に問題に取り組んでいた。

実態に応じた手立てを講じることで、一人一人の学習内容の確実な理解を促す。



実践例2

- 教科名 社会科（小学校第6学年）
- 単元名 「天皇中心の国づくり」

- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた工夫

児童からの大仏づくりに関する疑問をもとに、学習課題を設定し、その課題解決に向けた学習方法を児童一人一人が選択できるようにした。教科書や資料集、インターネット等を各自が選択するだけでなく、個人で取り組むのか、少人数グループで取り組むのかといった学習形態についても選択をすることで、自身に合った方法で学習に取り組むことができた。調べた内容は、Microsoftのホワイトボードに入力をし、分類・整理をしながら共通する内容について確認をした。その際、テキストマイニングを活用することで、重複しているキーワードを可視化することができ、話し合いを焦点化することができた。ホワイトボードは単元を通して使用しており、家庭学習等で学習内容を復習する際にも活用できるようにした。

調べた内容をホワイトボードで共有することで、発表の時間を省き、話し合いの時間を確保する。



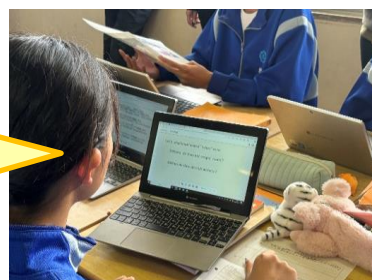
実践例3

- 教科名 英語科（中学校第1学年）
- 単元名 「Unit5 This is Our School」

- 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた工夫

外国の学校文化を紹介する活動において、生徒が作成した英文をオクリンクで教員に送り、個別に添削をしてフィードバックを行った。その後のスピーチの練習では、個人での練習や少人数グループでの練習を選択できるようにした。その際、デジタル教科書で発音を確認したり、スピーチの様子を動画撮影し、確認をしたりするようにすることで、自身の課題に応じた効果的な学習を進めることができた。孤立した学びを防ぐために、少人数グループでスピーチの確認をしたり、教員やAL Tに対してプッシュ発表をしたりする時間を設定した。

ICTを効果的に活用し、一人一人に合った学習の支援を行う。



教員の授業力向上のためには、充実した研修機会を保障するとともに、よい授業事例を共有することが大切だと考える。引き続き「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた授業改善を図り、児童生徒一人一人の学力向上につなげていく。